



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

四年生

九月 第②週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

②注意

- ・大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりしてください。

先週の宿題から

1. 漢字

今日の授業で書いた漢字の練習をしましょう。

〈後で漢字テストします。〉

2. 音読 「手と心で読む」を読みましょう。

3. 言葉の勉強

次の問題を国語のノートにやりましょう。

① 「働きかける」を使って、文を作りましょう。

例…学校に来るようにぼくは友だちに働きかけた。

② ①と②、どちらの使い方が正しいですか。

《もどかしい》

① 日本語がうまく話せすもどかしい。

② 宿題がたくさんでもどかしい。

《もたらす。》

① 学校には教科書をもたらす。

② 台風が水害をもたらした。

漢字テスト

1. 読み方を書きましよう。

方法	ほうほう
課題	かだい
参考	さんこう
自動券売機	じどうけんばいき
不自由	ふじゆう
覚える	おぼえる
親しむ	したしむ
失う	うしなう
通う	かよう
借りる	かりる
種類	しゆるい
知識	ちしき
機械	きかい
便利	べんり
選ぶ	えらぶ
録音	ろくおん
囲む	かこむ

漢字テスト

2. ー線の漢字を書きましよう。

《 答えは次のページです。 》

新しいほうほう。

かだいを終わらせる。

じどう券けんばいきで切きふをかい。

ふじゆうを感じる。

漢字をおぼえる。

気をうしなう。

本をかりる。

しゅるいごと分ける。

きかいを使って仕事をする。

べんりな仕組み。

くつをえらぶ。

歌をろくおんする。

たき火をかこむ。

漢字テスト

2. ー線の漢字を書きましよう。

《 答えのページです。 》

新しい方法。

課題を終わらせる。

自動券売機^{けん}で切^きつを買^かう。

不自由を感じる。

漢字を覚^{おぼ}える。

気を失^うう。

本を借^かりる。

種類^{しゆ}ごと分^わける。

機^き械^{かい}を使^{つか}って仕^し事^じをする。

便^{べん}利^りな仕^し組^{くみ}み。

くつを選^えぶ。

歌^かを録^{ろく}音^{いん}する。

たき火^{たき}を囲^いむ。

筆者の思いを読み取りましょう。

1. 次の文しよようを読んで答えましょう。

みなさんの中で、駅の自動券売機の表面に、小さい点のうき出たところがあるのに気づいた人はいませんか。よく注意してみると、ゆうびん局や、市役所などの中でも見つかるかもしれません。それは点字といつて、わたしたち目の不自由な者が、指でさぐつて読む文字なのです。

大島健甫「手と心で読む」より

(1) 「点字」とは、どのような文字かまとめてみましょう。

小さな点がうき出たもので、目の不自由な人が指でさぐつて読む文字。

(2) 「点字」はどこで見つけることができますか。

駅の自動券売機の表面や、ゆうびん局や市役所の中で見つかる。

2. 次の文しよようを読んで答えましょう。

十九さいのとき、わたしは、急に眼を悪くして入院しました。もう回復は望めないと分かってからも、しばらくの間、わたしは点字を覚える気になれませんでした。まだ、新聞の大きな見出しぐらいは読んでいましたし、太いえんぴつで文字を書く練習もしていました。それまで親しんできた文字とはなれることは、まるで心のふるさを失うように思えたのです。 大島健甫「手と心で読む」より

(1) 「わたしは点字を覚える気になれませんでした。」とありますが、それはなぜですか。

《ヒント》今まで使っていた文字とはなれるのは、どのように思えたのですか？

それまで親しんできた文字とはなれるのは、心のふるさを失うように思えたから。

3. 次の文しよを讀んで答えましよう。

そんなわたしに、点字を覚えるように働きかけたのは、母でした。母は、いつの間にか点字を習いに通っていたようです。一九四四年の冬のある日、病室にやって来た母は、少しあつめの紙をわたしに手わたして、言いました。

「いっしよに勉強してみようよ。」

母が自分の手で打ってきた北原白秋きはらびくしゅうの詩を、わたしはわすれることができません。

からまつからまつの林を過ぎて、

からまつをしみじみと見き。

点字を指先で読み取るのは、初めのうちはなかなかむずかしいことです。かじかむ指をあたたためあたたため、わたしは、何日もかかって、ようやく一編の詩を讀んだのでした。

勉強し始めてみると、自分で自由に使える文字をもつことが、どんなに楽しく、どんなに大切であるかが分かってきました。

大島健甫「手と心で読む」より

- (1) 筆者は、なぜ点字を覚えようと思ったのですか。母がから始まる文を書きましよう。

母が点字を習いに通って、自分で打った点字の北原白秋の詩をわたして、「いっしよに勉強してみようよ。」と言ったこと。

- (2) 筆者は、点字の勉強を始めて、どんなことがわかってきましたか。文章中の言葉を使って書きましよう。

自分で自由に使える文字をもつことが、どんなに楽しく、どんなに大切であるかということ。

4. 次の文しよようを読んで答えましよう。

今、世界で使われている点字は、一八二五年、フランスのルイ・ブライユという人が、考え出したものです。日本では、それを五十音に組みかえて使っています。この点字は、たて三点、横二列の六点で一文字が作られています。これらの点を、あるものは打ち出し、あるものは空白にしておく組み合わせで、五十音と、そのほか十数種類の記号ができるのです。さらに、記号と文字とを組み合わせ、数字やローマ字、音符などを表すこともできます。盲学校の子どもたちは、これらを使って作られた教科書で学習しています。

知識や考え、思いを伝え合うことができるのは、文字のもつ大きなめぐみです。目の不自由な人の中にその文字、点字をもちこんだのは、ルイ・ブライユでした。最近では、わたしたちにもふつうの文字が打てる視覚障害者用ワープロとか、本を読んでもくれる機械などが作られています。これからも、人間のちえは、人々の心を結ぶ便利な道具や方法を考え出し、多くの人によるこびをもたらししていくでしょう。

大島健甫「手と心で読む」より

- (1) 今、世界で使われている点字は、いつ、だれが考えだしましたか。
いつ（一八二五年） だれ（ルイ・ブライユ）

- その人はどこの人ですか（フランス）
(2) 日本の点字はどのようなになっていますか。（ ）に合う言葉を入れましよう。

たて（**三点**）、横（**二列**）の六点で一文字を作る。これらの点を、あるものは打ち出し、あるものは（**空白**）にしておく組み合わせで、（**五十音**）と記号を作る。記号と文字を組み合わせ、（**数字**、**ローマ字**、**音符**）などを表すこともできる。

- (3) 「文字のもつ大きなめぐみ」とは、どんなことですか。

知識、考え、思いを伝え合うことができること。

もつと知りたいことを調べて、作文に書きましよう。

わたしたちは、いろいろな方法で伝え合い、分かり合い、ささえ合っています。たくさんの人たちと、より深く分かり合うには、どうしたらいいでしょうか。「手と心で読む」を参考に、もつと知りたいことを調べて、作文に書きましよう。

〈中村和也さんの作文〉

課題 身の回りにある点字をさがしてみたい。

電話機の「5」

中村 和也

ぼくは、身の回りにどんな点字があるか調べようと思いました。そこで、本で調べたり、母にきいたりしました。

点字をさがす中で、おもしろいものを見つけました。それは、点字と同じようにさわってわかるように工夫されているものです。電話機の「5」のボタンの上に小さなでっぱりがあるのです。目の不自由な人は、数字の並び方を覚えて、「5」をたしかめて電話のボタンをおすのだそうです。

「5」についているでっぱりは、本当に小さなものですが、とても大切な役わりをしていることがわかりました。知らない人が多いと思いますが、ぜひ知ってほしいと思います。

5. 中村さんの作文を読んで、次の問いに答えなさい。

電話機の「5」

中村 和也

ぼくは、身の回りにどんな点字があるか調べようと思いました。そこで、本で調べたり、母にきいたりしました。

点字をさがす中で、おもしろいものを見つけました。それは、点字と同じようにさわってわかるように工夫されているものです。電話機の「5」のボタンの上に小さなでっぱりがあるのです。目の不自由な人は、数字の並び方を覚えて、「5」をたしかめて電話のボタンをおすのだそうです。

「5」についているでっぴりは、本当に小さなものですが、とても大切な役わりをしていることがわかりました。知らない人が多いと思いますが、ぜひ知ってほしいと思います。

(1) 中村さんは、どんな方法で「身の回りにある点字」について調べましたか。

本で読んだり母に聞いたりする方法。

(2) 中村さんの知らせたいことの内容はどんなことですか。「くくについて」という文にしましょう。

電話機の「5」のボタンの上にある小さなでっぴりについて。

(3) 中村さんは話の結びをどのようにまとめましたか。

- ア 調べて分かったことに対する感想をのべてまとめている。
イ 調べ方やまとめ方の反省点をのべてまとめている。
ウ 調べたが分からなかったことを整理してまとめている。

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

漢字テストでできなかったり、間違えてしまった漢字の復習をしましょう。

2. 音読 「手と心で読む」を読みましょう。

3. 作文の書くための準備をしましょう。

① 「どんな所、どんな物に、点字が使われているか」調べてきてください。

〈本、新聞、インターネットで調べる。家の人に聞く。点字を見かけたところで調査する。〉

② 調べたことに関係する写真を見つけてください。





お知らせ し

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、Webページ <http://JPNCClass.com> を
見てください。
 - ❖ このビデオのスライドもWebページからダウンロードや印刷が
できます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

四年生

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月	
	<p>伝言はまちがえずに 伝言をまちがえずに 伝えるために注意す ることをおぼえよう。</p>		<p>三つのお願い 友だちと喧嘩をした 経験や仲直りをして うれしかった経験を 話そう。</p>	<p>話す／聞く 1年間の学習を通し て 先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>
<p>伝えたいことを書こ う 事実を正確に伝える 記事の書き方を学び、 記事を書こう。</p>	<p>春のうた 春になるとみられる 生き物や草花の、詩 を書こう。</p>	<p>「かむ」ことの力 二つのまとまりそれ ぞれを、短くまとめ よう。 (要約しよ う。)</p>	<p>手紙を書く 手紙の書き方を覚え て、友だちに手紙を 書こう。</p>	<p>書く 新聞記事 記事の内容をまとめ、 記事に対する自分の 意見を書こう。</p>
<p>伝えたいことを書こ う 新聞には、どんな工 夫がされているか知 ろう。</p>	<p>春のうた 場面の様子やかえる の気持ちを想像しな がら読もう。 かえるの気持ちが表 れるように音読しよ う。</p>	<p>「かむ」ことの力 段落と段落のつなが りに気をつけて 読み、内容をつかも う。</p>	<p>三つのお願い ばめんの様子や物語 に出てくる人の気持 ちを想像して読もう。</p>	<p>読む 新聞記事 子ども新聞を読もう。</p>
<p>いろいろな符号の働 きを知ろう。</p>	<p>ローマ字 ローマ字の書き方や 決まりを知って、 ローマ字で書いてて みよう。</p>	<p>漢字辞典の使い方 漢字辞典の使い方 を知り、実際に使っ て熟語を調べよう。</p>	<p>〈漢字の組み立て〉 漢字を部分に分けて、 部分の名前を覚えよ う。漢字の部分があ つ意味を知ろう。</p>	<p>言葉</p>

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>自分の考えを発信しよう 自分がかくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、発信しよう。</p>			<p>伝え合うということ 調べたことを発表する方法について学び、調べたことを発表しよう。</p>		<p>話す／聞く</p>
<p>自分の考えを発信しよう 自分がかくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、新聞の形に書こう。</p>	<p>アップとルーズ 段落ごとの内容をまとめよう。</p>	<p>一つの花 戦争中と戦争後の場面をくらべて、そのちがいをまとめよう。</p>	<p>伝え合うということ 自分の課題を見つけて、作文を書こう。</p>	<p>本のしょうかい 読んだ本の紹介カードを作ろう。</p>	<p>書く</p>
<p>自分の考えを発信しよう 自分がかくわしく知りたいことや疑問に思ったことの発信の仕方を知ろう。</p>	<p>アップとルーズ 段落ごとの内容を読み取り、文章の組み立てをとらえよう。</p>	<p>一つの花 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読もう。</p>	<p>伝え合うということ 「手と心で読む」を 読んで、伝え合うことについて考えよう。</p>	<p>白いぼうし 様子や気持ちを表す言葉に注意して、場面の様子をつかもう。</p>	<p>読む</p>
<p>自分の考えを発信しよう 自分がかくわしく知りたいことや疑問に思ったことの発信の仕方を知ろう。</p>	<p>アップとルーズ 段落ごとの内容を読み取り、文章の組み立てをとらえよう。</p>	<p>文と文のつながり 接続後の働きを知り、正しく使えるようにしよう。</p>	<p>にた意味の言葉 にた意味の言葉の違いを知り、ただしくつかえるようになるう。</p>	<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字それぞれの意味と使い方を知ろう。</p>	<p>言葉</p>

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
	<p>ごんぎつね 登場人物の気持ちの うつり変わりをもち に、この作品を、自 分で思ったことを、自 分なりにまとめてみ よう。</p>	<p>言葉遊び 自分で言葉遊びを作 ろう。</p>	<p>表やグラフにして 生活にかかわる問題 についてしらべて、 文章にまとめよう。</p>	書く
	<p>ごんぎつね 物語のあらすじをお さえ、場面の様子 想像しよう。 登場人物の気持ちの うつり変わりを読み 取ろう。</p>	<p>言葉遊び いろいろな言葉遊び を知ろう。</p>	<p>表やグラフにして 表やグラフを使った 文章について知ろう。</p>	読む
	<p>〈四年生の漢字〉 四年生で習った漢字 の復習をしよう。</p>	<p>漢字しりとり 漢字のしりとりをし て、漢字の読み方や 使い方を覚えよう。</p>	<p>熟語の意味 漢字の訓や漢字の組 み合わせで、熟語の 意味をつかめるよう にしよう。</p>	言葉